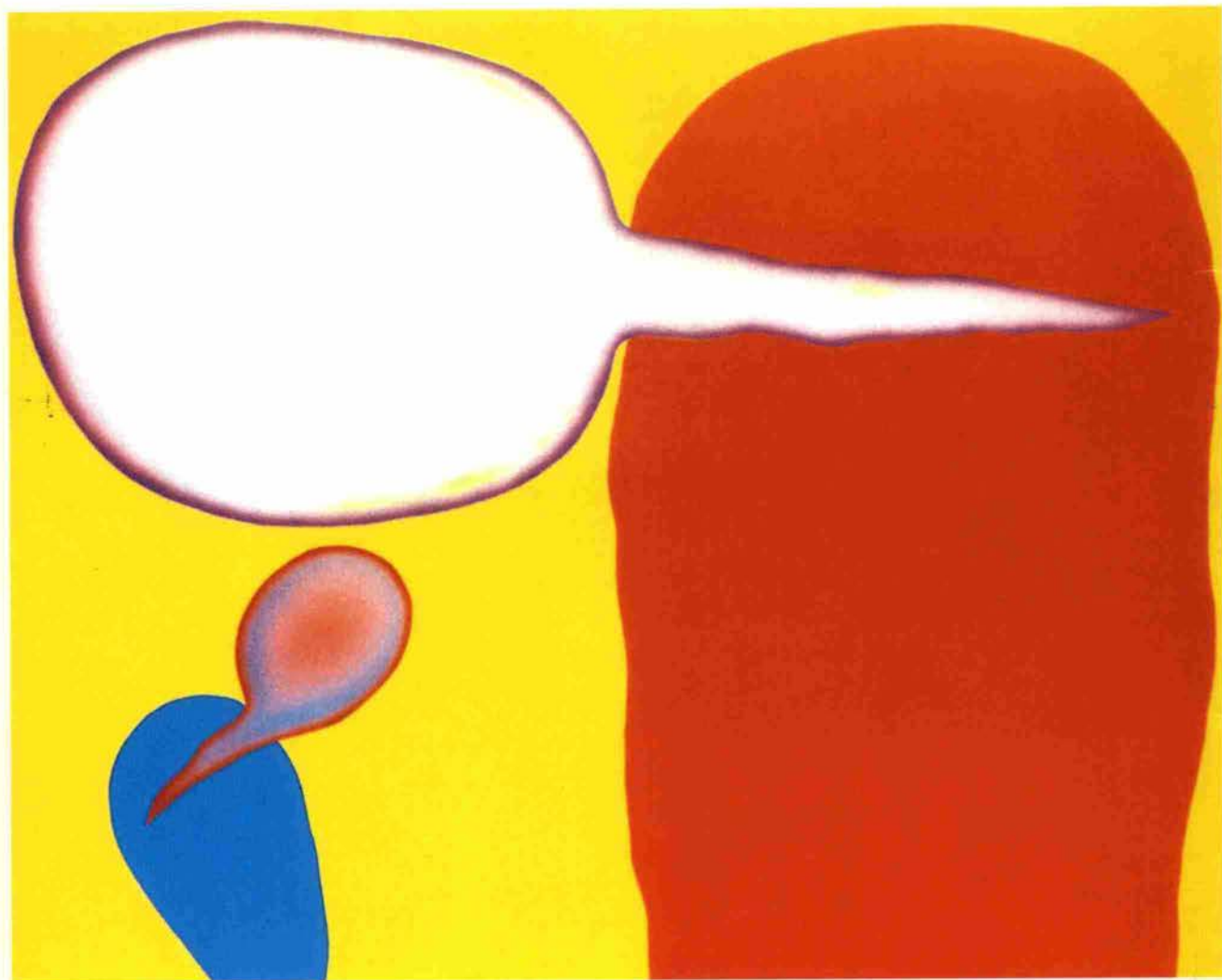


MONTHLY MAGAZINE

1999年2月1日発行(毎月1回1日発行) 第38巻第2号(通巻453号) 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECCO

February'99 No.453 月刊神戸っ子 2



★酒特集

鼎談 無駄ではなかった“青春の酒”

大森一樹 植松奎二 榎 忠

〈ゲストインタビュー〉町田 康

〈連載〉エッセイ村松 友視 ショートショート 玉岡 かおる



PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

REFINE



GIFT



洗練された、贅沢な味わい・・・REFINE GIFT

いつも変わらぬあの味、バラエティー豊かなお菓子の数々。自然の味を大切に、深みとコクのあるおいしさの和・洋菓子は、お世話になったあの方のライフスタイルを考えながら贈り物を選ぶことで、贈られる方の心もとときめかせます。あなたの気持ちに華を添える心優しいギフトコレクションをお届けします。



エコルセ・チーゲル・モンロワ詰め合わせ・・・5,000円



エコルセ・チーゲル・モンロワ詰め合わせ・・・3,000円



エコルセ・チーゲル・果心庵詰め合わせ・・・2,500円



エコルセ・チーゲル詰め合わせ・・・2,000円

本高砂屋の和・洋菓子ギフトは

本高砂屋

全国の有名デパートでお求め下さい。



*My Sweet
Memory*

JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078 (331) 5761

KOBE EXCELLENT FASHION

英国エリザベス女王ご用達

“J&Jミニス”の最高級モヘア服地

「ロイヤル・プレミアム」今春3月に入荷します。

写真：竹中店長

手づくり
お誂え紳士服



撮影／米田定蔵

KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…。

Sanohe

本店 神戸市中央区元町通2丁目5-7 TEL.331-4707
支店 神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE
Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店 TEL.391-0014
ピアノコ・ドンナ店 TEL.391-4601

★よろず御衣縫上處

神戸シヤリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168



LIZA

神戸市中央区三宮町2丁目6-1 TEL.391-6806

★婦人帽子

maxim
マキム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13(トアロード)
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ 最高の風格

手づくり
お誂え紳士服



創業明治16年 (金) 株式会社柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161
東京店 東京 帝国ホテル アーケード内 TEL. 3503-7973

—アート&クラフト'99—

第2回 高濱浩子



けはい



たかはま・ひろこ
〈画家〉
神戸市中央区在住

赤は熱。青は安らぎ。白は空。
黒は血であり肉である。人・
花・地…全ての者が同じ色
をもっている。生きることか
ら逃げてはいけない。昨年、
神戸トアギャラリーにて「生
きる」をテーマに作品を発表。

“ベシティバンクかんしん”
は「共感・対話・信頼」を企業
理念として、地域の文化・芸術
の育成に努めております。

この“かんしんストリートガ
ラリー”も芸術の香りをはの
かに漂わせたアートのスポットと
して、本年は「アート&クラフ
ト'99」と題したシリーズで様々
な作品を紹介してまいります。



生田新道に面したストリートギャラリー



kansin

ふれあいウェーブ—ベシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650-0011
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874

KOBECCO

月刊神戸っ子2月号

No.453

FEBRUARY '99

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙/元永定正「RON RON」

酒特集

scenery

18

神戸新百景 <10>「日本一の酒どころ、灘」村上和子

poem

19

ポエム・ド・コウベ「夜の酒」安水稔和

essay

22

酔眼流旅日記 <30>

「われ泣き濡れてフグと戯る」

村松友視 イラスト=灘本唯人

talk

24

無駄ではなかった“青春の酒”

大森一樹 植松奎二 榎 忠

talk&ranking

30

神戸酒徒番付'99選考座談会

東/経済人 木下 健 角田嘉宏 前田篤良

西/文化人 有井 基 岡田 弘 武田則明

34

神戸酒徒番付'99発表

Q&A

36

私の「酒亭」この1店

矢野正文 露の団六 石原暁美 大和松蔭 小室豊允

大垣圭介 貞松正一郎 新谷琇紀 玉岡かおる

松本幸三 村上和子

news

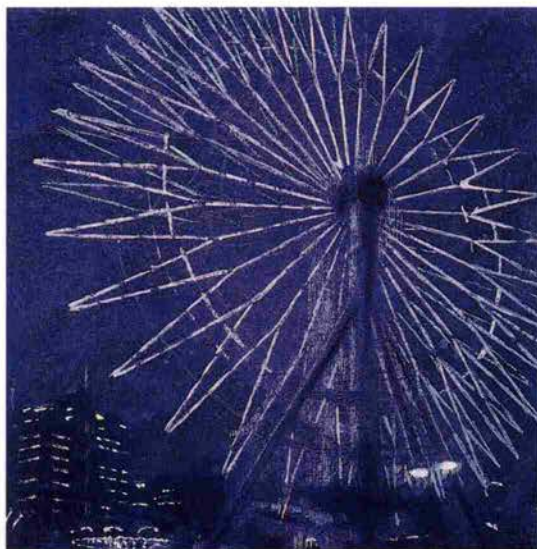
38

灘五郷瓦版

sake rabel

54

日本酒ラベル特集「灘の酒は日本一」



西田真人「KA・N・RA・N・SYA」

interview

11

神の扉、開けたまへ 町田 康

essay

70

私の有馬温泉 <2>

ホームグラウンドでの対局 谷川浩司

short short

90

神戸25時・彼と彼女のアストロジー <2>

「みずがめの中のピース」

玉岡かおる イラスト=高濱浩子

series

20 オビニオン・インタビュー「神戸で買ひしょう」鶴崎 功

41 浮世絵・忠臣蔵の世界 中右 瑛

42 KOBECCO'99 馬場晶子 瀬戸口仁三郎

44 小室豊允の夢対談

「ビッグバン」時代に金融機関の果たす役割 園田正和

46 神戸のお嬢さん 森垣佳子 田中希代子

48 ある集い 神戸(ホスト)ライオンズクラブ 神戸日西協会

50 小関みか子のTASTYゴルフ「有馬カンツリー倶楽部」

67 おなじみプロフェッサーPの研究室 岡田 淳

68 コウベスナップ

72 Reportタカラヅカ「新生星組のカラーを」 稔 幸

74 はるにゃんのHYOGO WALK

「おいしいごはんを食べよう県民運動」 常深邦晃

76 亀井一成のスームインズー「哺乳ママとおんぶババ」

78 神戸を福祉の街に

「子どものボランティア里親になりませんか？」 橋本 明

79 KFSニュース「ファッションパーティー『胎動』」 藤井美智子

80 中村友一の味な街「岡女堂」

81 ビット・イン

82 TOR ROADまちづくり「トアロードの名の由来は？」

84 イベント&プレゼント「MODERN CULTure 9902」

86 ポケットジャーナル

89 啓介いろは歌「兄さんいろは歌」 今井啓介/ヤジマンガ 9902

92 ルボ・神戸の工房をめぐる「灘酒づくりの名人」 福元早夫

94 海 船 港 「さようなら、キングス・アームス」 木村光理

96 吉野「山灯り展」と「山灯りフォーラム」 千田要宗

99 愛読者プレゼント

100 北野ホットニュース「ゴディバ北野坂店」

102 神戸百店会MAP

104 神戸うまいもんドリンキングMAP

カメラ/米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志 シンイチ

夜の酒
安水 稔和



ポエムドコウベ (2月)
Photo by Teizou Yoneda

そつと流しこむと

ゆるりとめぐる。

目を閉じると

ゆっくりと体が揺れて。

水のように渡り

火のように這い。

風のように宙に舞い

土のように激しく匂う。

生きているんだなあ

声が出そう

今にも歌い出しそう。

そつと手の平にのせる

今日一日の遊びと

わずかばかりの悔い。



2月10日ついに発売!

全国有名書店にてお買い求めいただけます。

司馬遼太郎追想集

ここに神戸がある

司馬遼太郎 1961~1963 '65 '76 '83 '95



変型版 (タテ19.5cm・ヨコ20cm)・108ページ・定価2,000円(税込)

この一冊で神戸人の気質がよくわかる
(主に一九六一年から二年間にわたって「月刊神戸っ子」に連載されたものを一冊にまとめたものです)



◆「梟の城」で直木賞を受賞したころの司馬遼太郎が神戸をルポルタージュ。

◆ルポルタージュ「ここに神戸がある」と連載「問わず語り」を2年にわたる執筆。

◆36年、月刊神戸っ子創刊にあたり、その船出を飾る司馬文学を再編成。

◆なつかしい神戸での写真も掲載。

◆未曾有の阪神淡路大震災のときいただいた激励文「世界にただ一つの神戸」では、言葉が人を励ますことを改めて知り、人々は立ちあがることができた。

◆田辺聖子、陳舜臣各氏からの思い出を語るメッセージ。

司馬遼太郎追想集

ここに神戸がある

司馬遼太郎 1961~1963 '65 '76 '83 '95

定価2,000円(税込)

1999年2月10日発行

著者 司馬遼太郎

発行者 小泉美喜子

発行所 有限会社月刊神戸っ子

〒650-0011兵庫県神戸市中央区下山手通3-1-18

ツインズアビル4F

電話 (078) 331-2246 FAX (078) 331-2795

振替 01160-2-45196

発売所 コミュニティーサービス株式会社

こ う べ 神の扉、開けたまへ 町田 康

〈作家・パンク歌手・詩人〉



小説処女作がいきなり芥川賞候補になった町田康さん。
どうしようもない男が繰り広げるどうしようもない物語は、
ブンガクを笑いのめしつつ、“語り物”として復権させた。
19歳でパンク歌手としてデビューし、映画に出演するなど
多彩な表現活動をつづける、その秘密とは？

撮影 池田年夫
構成 矢島 潤（本誌）

「今日は十手を、用意したんです。」

「うわあ(笑)。ここ10年ぐらいい欲しくって、買いいいかなきゃなと思ってたんです(笑)」

「時代劇をよく見てらして、『屈辱ボンチ』にも小道具として出てきますね。」

「そんなにマニアックに見てたわけじゃないんで、あんまりたいした意味はないんです(笑)。最近はいあんまり見てる時間もないし……」

「お忙しいですか。」

「自分が書くのが遅いので追いつかないところはあんですが……」

「小説だけでなく、多方面でご活躍ですか。」

「大まかにいうと、書くことと俳優的なことと音楽の活動が中心になります」

「エッセイで『音楽も文学も、ただ分類の問題で』ひとつの命や魂のなかで沸騰しているものは同じもの」と書かれてい

言わなかった

その背後を含めて表現したい

「最近はずいぶん立っていますか。」

「詩や小説の朗読会はひとりでできますからたまにやるんですけども、音楽の舞台つていうのはハーサルやほかのいろんな手間がありますからちょっと時間がかかるので、ここ1年くらいご無沙汰してるんですが、決してもうやめたわけではないんです」

「独特の文体ですが、ひよっとして書

ましたが、沸騰の仕方に違いはあるんでしょうか。」

「このテーマはこれ向きだなとかあんまり考えて分けるっていうよりは、どういう出方をするかっていうこと……例えば、ひとつの風景を見て歌にしたときと詩にしたときと小説にしたときと、まるで違うものをもしましたら形づくっているかもしれないです。ひとつの風景を見て、いろんな側面からとらえるっていう……」

「ジャンルによって楽しさの違いはありますか。」

「どの表現にしてもわりと大変な部分と、やってて快樂の部分、楽しい部分っていうのはどちらもあんですが、だからとりわけこれだけやっていけば楽しいとか苦しいとかはないですね。何をやっていても面白かったり、大変だったります」

「ときに『語り物』として朗読すること意識されてるんでしょうか。」

「それはまったくないです。書く場合は読むことを前提に考えますから、朗読用の台本を書いてるってことはいいです。それはそれでまた別の分野ですから」

「バンドの1NU時代から、歌詞の中に日常から逸脱することばがふと入って

きますね。」

「歌詞なんかでもいろいろ工夫してやってるんですけども、ことばっていろんな表現ができますから、その時々、例えば小説や詩の世界の中でいちばんハマることば、ひとつのことを言ったことがその背後にある言わなかったことを含めて言えるっていうようなことばをなるべく選ぶようにしてます」

「独特のことばですね。」

「ことさら難しくしようと思ったり変わったことをやろうとしてるわけではないんで、いちばんそこにハマることば、いちばん存在しててぴたりくる表現を心掛けてます」

「『江戸』と『なにわ』の交錯というか……」

「それも、ことさら関西出身で後に東京に移住したことを表現したいわけじゃなくて、いちばん速やかに世界を表現できるっていう……」

「そのときの気分というか世界を表現するためにフツと出てくる感じですか。」

「そうですね」

「最近の歌でいうと『阿呆のソール』(アルバム『脳内シャッフル』所収)が好きなんですが、あれはどんな感じで出てきたんですか。」

「利口なことっていうのは残酷なことなんですけれど、阿呆であるってこともけっこう残酷でせつないっていうことを歌にしただけで、割と陳腐な歌です」

「アホ・ボケ・サルと、関西人の3大罵倒文句が揃ってて(笑)。」

「せつない歌だと思えますよ」

「東京で『関西の血』を感じることはありますか。」

「ときどき関西に来て思うのは、会話が違ふということですね。形式として、関西では必ずセッショ的に会話するんですけど、東京だと弁論的というか、ひとり意見が言っている感じがするところはあるですね。自分が大阪語的発想で面白いこと、くだらないこと(笑)を言っても、なかなか繋がっていかないというか終わってしまうというか(笑)」

「場が凍ってしまうんでしょうか。」

「誰かツッコミしてくれないんですね。」

「簡単にいうとそういうことです。会話っていう感じではないですね。非常にさびしい思いをします(笑)」

「息苦しいですか。」

「そこまではないですけど、そんなことも別に重要なことを言ってるわけじゃないんで(笑)」

「東京に行かれてどのくらいになりますか。」

「もう10年くらい」

「その前が高槻でしたっけ。」

「いや、いろいろあつちこつちと(笑)。いちばん長かったのが実家のある大阪の住吉区ですね」

「昔は新世界で酒とギャンブルに明け暮れてたとか(笑)。」

「そうですね。もうめったに行かないですね」



—神戸にはよく来られるんですか。
「今回の『屈辱ボンチ』もそうですけど、挿画をいつもお願いしてる寺門孝之さんが神戸在住なんで、彼のところにふらっと遊びに行ったり、アトリエでうだうだしたり、そういうことはあります」

神戸の“濃い”光が好き 坂のシーンは神戸のイメージ

—今度「神戸っ子」で対談をお願いします。
「そうですね(笑)」

—アルバム「ほな、どないせえゆうね」に「神の扉、開けたまへ」っていう曲が入ってましたね。
「あれはタイトルですから、歌は歌で独

まちだ・こう 1962(昭和37)年、大阪府堺市生まれ。高校時代より町田町蔵の名で音楽活動を開始。19歳で「メシ喰うな!」(バンド名!NU)を発表。「爆烈都市(バースト・シティ)」「ロビンソンの庭」などの映画に出演し、詩人としても活躍。'97年に発表した処女小説「くっすん大黒」でドゥマゴ賞、野間文藝新人賞を受賞、芥川賞候補に。著書に「供花」「へらへらぼっちゃん」「屈辱ボンチ」など

立した世界があるんです。神戸、つまり神のドアを開けたらどうなるかというイメージから発想した曲です」

—地震を暗示してたりして(笑)。

「それはないと思います(笑)」

—神戸の嫌いなところはありますか。

「いや、好きなんです。神戸に来ると光が濃いっていうか、強いというのは違うんですが、寺門さんところに来るとああいいなと思って」

—寺門さんも東京から神戸に帰って来られて「光が違う」とおっしゃってました。

「ほんとに違うと思います。なんか僕がこう言うとおれですけど、神戸が非常に好きなんです」

—ここで作家の柳里さん登場。十手を見て笑う柳さん。ツーショットでの撮影を快諾していただく

—おつきあいは長いんですか。

「演劇の時代から、彼女が小説を書く直前ぐらいかな、なんか縁があって。あんまり小説を書くひとの知り合いはそんなに多くないんですが」

—嫌いな小説家はいますか。嫌いなことば書きというか…。

「いや、音楽の場合は嫌いなものでも街で強引に耳に入ってきますけど、小説の場合は自分で本屋で買って読むわけですから。嫌いなものはないと思うんですけど、どんなひとでも(笑)」

—なるほど。神戸には筒井康隆さんも

いらつしやいます。

「ドゥマゴ賞で多くの小説(デビュー作『くっすん大黒』)を選んでいただいて、昔から読者でもあったんで大変感激しま

した」

— 今度「神戸っ子」で対談をお願いします(こればかり)。

「いやあ(笑)」



「なんか縁があって」柳美里さんとは演劇時代からのおつきあいだという町田康さん

— 個人的にはパンク歌手としてもっと活動していただきたいんですが、CDのご予定は?

「アイデアとかプランはたくさんあるんですけど、CDを作るのも時間がかかりますから、もう少ししばらくお待ちいただいて、なんとか近い将来、形にしたいなと思っています。まずコンサートをやりたいですね」

— 最後に神戸へのメッセージをお願いします。

「地震のときはテレビも新聞も見なくて電話が掛かってきて驚愕したんですけど、その後まだ大変なこともあると思いますので、あんまり私の立場から大変でしようにってのもなんなんですけど…」
— 神戸の人間は基本的に明るくやつてますよ。

「友人も多いんで、また機会があれば神戸でコンサートをやりたいと思ってますので、その節はみなさんもいらしてください。それと『屈辱ボンチ』に入ってる『けものがれ、俺らの猿と』の中の坂を上っていくパレードのシーンは、半分くらい神戸をイメージして書いたところもあるんで、神戸のみなさんに『屈辱ボンチ』をもっと読んでいただきたいと思います(笑)」

— 宣伝しておきます(笑)。ありがとうございます。

(98年12月12日、駸々堂神戸三宮店で)

●町田康の本

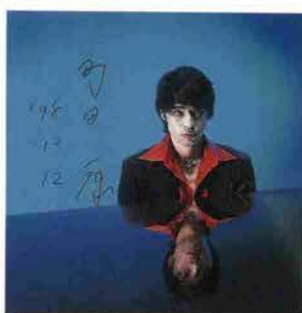
「壊色」(リトルモア/ハルキ文庫) *エッセイ集
「供花」(思潮社) *詩集
「くっすん大黒」(文藝春秋)
「へらへらばっちゃん」(講談社) *エッセイ集
「夫婦茶碗」(新潮社)
「屈辱ボンチ」(文藝春秋)

●町田康(町田町蔵)のCD

「NU」(メシ喰うな) (徳間ジャパン)
「どてらい殿」(PARCO SECTARY)
「ほな、どないせえゆうね」(◇)
「腹ふり」(徳間ジャパン)
「駐車場のヨハネ」(ビクター)
「どうにかなる」(ビクター)
「脳内シャッフル革命」(ビクター)



「屈辱ボンチ」文藝春秋
(挿画・寺門孝之)



「脳内シャッフル革命」ビクター
(撮影・荒木経惟)

フェアリー
春の妖精の贈りもの



MORI
Pearls
Co. Ltd.

森真珠株式会社

本社 〒651-0093 神戸市中央区二宮町1丁目4-15
TEL (078) 241-2126 (代)
2Fショールーム TEL (078) 222-5881 (代)
(駐車場有り・年中無休)
オーバ店 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目
JR新神戸駅口3F
TEL (078) 262-2858 (代)
2859 (年中無休)

Memorial Wedding

～天使が舞い降りる日～

春のそよ風の中、
最高のほほえみを見せる花嫁
たったひとりの出会いをもたらしたのは
天使のいたずら？



少女の頃の夢
可憐なパール
の輝きに秘めて

ジュエリー **東 亜**

トアロード店 神戸市中央区山本通3-14-15 TEL.078-222-5098
北野店 神戸市中央区山本通3-3-10 TEL.078-222-4366
大丸前店 神戸市中央区三宮町3-1-10 TEL.078-333-1120

ロマンチックな北野の式場

北野プラザ **六甲荘**

神戸市中央区北野町1-1-14
TEL.078-241-2451 FAX.078-241-2497

チャペル&レストランウエディング

神仙閣

SHINSENKAKU

神戸市中央区下山手通2-13-1 (生田新道トアロード寄)
TEL.078-331-1263



Community & Resort Hotel
MAIKO VILLA

美しいロケーションを誇る
舞子ピラなではの
リゾートウェディングを
お届けします

コミュニティ&リゾート ホテル 〒655-0047神戸市垂水区東舞子町18-11
舞子ピラ TEL.078-706-3711(代)
JR舞子駅東・徒歩10分

**舞台は神戸
2人が主役のウェディング
アルバムを**

ビーナスブリッジ、北野異人館など二人の思い出のスポットで撮影するロケーションフォト(¥60,000~)をはじめ、スタジオでの記念撮影、挙式&披露宴のスナップ写真(¥70,000~)ビデオ撮影など、ご希望に合わせてご相談承ります。

三宮写真室
神戸市中央区中山手通2-24-8
TEL.078-241-5530
9:00~18:00木曜定休




純白のドレスは
永遠のあこがれ...

みどり美術院 **まや衣裳店**
TEL. 078・334・1071 (2F) TEL. 078・334・1083 (1F)
神戸市中央区北長狭通1・10・5

花嫁の思いを
ドレスに託して

株式会社 **つや衣裳店**
最寄りの店舗をお気軽にご利用くださいませ。

神戸元町店.....	☎ (078) 321-0360
神戸ポートピアホテル衣裳室	
プライダルブティックビアンカスボーザ...	☎ (078) 302-3378
神戸屋月堂88衣裳部.....	☎ (078) 302-3378
ホテルゴーフル衣裳部.....	☎ (078) 302-3378
橋公会館衣裳室.....	☎ (078) 382-0160
新神戸オリエンタルホテル衣裳室	
プライダルブティックアソルティ.....	☎ (078) 262-2908
西神戸オリエンタルホテル衣裳室.....	☎ (078) 992-3383
兵庫県民会館衣裳部.....	☎ (078) 321-0360
神戸メリケンパークオリエンタルホテル衣裳室	☎ (078) 393-3320
レンタルブティック楽隊衣.....	☎ (078) 262-2708



和の美しさとあかりをテーマに

ご婚礼1月~6月プラン
ほんのりときめく

ほのめき
40名様 ¥1,185,000より
(お一人様追加 ¥21,000より)

ご婚礼7月~12月
卯の年プラン

はなうさぎ
40名様 ¥980,000
(お一人様追加 ¥17,000)

こころの結婚式
西宮神社会館
西宮市杜家町1-17
ご予約・お問い合わせは
TEL.(0798) 23-3311

本殿挙式、前撮り写真、和のコーディネート、パーティ形式のご披露宴等人気のプランもいろいろ



主役は私。

ウェディングの他にも卒業式・謝恩会などのご用命も承っております

衣裳袴セット **¥28,000**より
(ヘア&着付けバック料金)

美容室エリザベス
三宮本店/078・331・8894
住吉店/078・851・6388
営業時間/9:00~18:00
定休日/毎月曜・第1火曜・第3日曜

株式会社 **Elizabeth** 美容室 エリザベス
HAIR&FACE **Elle**
レンタルブティック
フォーマル&ウェディング **Elle** 三宮本店階上/078・331・3258





撮影／米田定蔵